

**令和5年度文京区アカデミー推進協議会
第1回分科会(観光分野)概要記録**

日 時	令和5年7月27日(木) 18:30～20:05
会 場	文京シビックセンター17階 1701会議室
出 席 委 員	座長 山田 徹雄 小能 大介、近藤 裕子、塩澤 雅代
欠 席 委 員	関 誠
事 務 局	高橋アカデミー推進部長 堀越アカデミー推進部観光・都市交流担当課長 岡崎アカデミー推進課観光担当主査
資 料	次第、令和5年度第1回アカデミー推進協議会(以下「協議会」という。) 資料第2-1号、資料第2-2号
(議事) 1 議題 ◎委員意見 ◆事務局説明	<p>1. 令和4年度の事業実施状況の点検・評価について</p> <p><u>冒頭、事前に提出のあった観光分野への意見について</u></p> <p>◎大学入試やオープンキャンパスの折、保護者も多く区に訪れるため、その方々に区の魅力を紹介してはどうか。将来の学生に区の魅力を知ってもらったらいと思う。</p> <p>◆区来訪者に対する観光PRは、オープンキャンパスに限らず考えているが、大学に関連し、昨年度実施の事業を例にあげると、東洋大学の国際観光学部の新入生に、2回に分けて、区の観光施策等を説明する機会を頂き、区をPRさせていただいた。区内大学に通っているが、4年間区を全く知らずに卒業されることは残念なので、区の観光紹介だけでなく、区の観光施策について説明し、事業等も紹介している。今後も区内の他の大学で、同様の取組を実施したい。</p> <p>◎留学生に日本の印象を聞くと、北海道や沖縄、富士山といった回答が多く、折角区に通う留学生に区の魅力が伝わっていないのはもったいない。根津神社や白山神社、播磨坂など、留学生へ向けてもっと区の魅力を発信すべきではないか。</p> <p>◆区に通う留学生にご協力いただき、区内をいろいろ歩いて、自分なりに感じたことなどを、レポートにまとめてもらい、SNS等で広く発信する事業を実施している(区観光情報発信リポーター募集チラシ及び、その結果をまとめた多言語リーフレット(英語・中国語)の3枚配付)。行政の気づかない視点での気づきがあり、SNSを通して、留学生の友人知人等から広がっていくことを期待している。本事業は、まだ大々的な実施に至っていないが、高い評価を得ており、今後も引き続き実施したい考えである。</p> <p><u>①分野別基本方針 区内まるごと周遊の促進について</u> 協議会資料第2-1号に基づき、同事業を通じた達成状況について説明。</p>

◎観光写真コンクールについて、最近では小児部門の写真もとても増えた印象である。大人顔負けの作品も多く、賞を増やすよう検討するとともに、写真家による子ども向け写真教室なども開催している。今後更に参加が増えると考えている。区のより良い魅力を写真で残せればと感じており、本事業の成果を大変高く評価している。写真を見た方が、まだ足を運んだことのない場所を訪れるきっかけになればと感じており、今後更にアイデアを膨らませていけると良いと思う。

◎ボランティア観光ガイドの育成について、区民中心のボランティアはとても良いが、マイクロツーリズムの促進と関連しガイド育成はどのような効果があると考えているか。

◆マイクロツーリズムとは、コロナ化で県境を跨ぐのが厳しく、人流制限の状況下で生まれた、近隣区や自宅から1時間程度の観光地を巡る言葉であり、区民や近隣区民が区を訪れ、近場にも様々な観光名所があることを発見し、SNS等で発信することで、コロナ後、その情報を見た方が区を訪れたいと感じてもらうための取組である。また、ガイドツアーについては、祭り参加者向けに近場を案内したことが始まりで、現在は区の来訪に併せたガイドツアーの予約なども受け付けている。外国人向けの取組では、英語観光ガイドがあり、現在は、インバウンド客向けよりかは、区に在住在学中の外国人向けの実施が多い。今後はインバウンド客のニーズに合わせたガイドツアーの展開も検討していく必要がある。

◎観光写真コンクールに関連して、コンクールでは様々な写真が掲載されるが、そのイベントがいつ実施されるのか容易に分かると良い。例えば、花の五大まつりなどは、区民であれば区報やホームページ、B-ぐるバスなどで開催日を確認できるが、コンクール会場で写真を見た際や、各種パンフレットを開いた際にイベントの実施時期などが分かると、より多くの方へ周知できるのではないか。

◆確かにお祭りなどのイベント写真も多く掲載されるので、何の祭りか、或いは時期が分かるようにすることで、写真を見た方の区への来訪に繋がるという点では非常に有効だと感じるので、貴重なご意見として受け止める。

◎花の五大まつりの助成等について、まつりの実行委員会も人手が足りず、ボランティアに頼ることもあり、事業そのものに経費がかかるので、助成は大変ありがたい。また、花の五大まつりなどは歴史が長く、植え替えも必要なので、祭りの存続に今後も支援は必要だと思う。

◆行政としても、花の五大まつりなどは観光振興の面だけでなく、地域振興としての役割も大きく、地域に多大な影響力があると捉えており、今後も継続に向けた支援を考えている。これに限った話ではないが、祭りの担い手など、次世代に繋がる仕組みづくりが重要だと感じている。そのために区では、子どもや家族向けに、祭りの魅力

や、実行委員会による祭りの運営などを見てもらう取組を行っている(文京花めぐりのチラシ配付)。次代の担い手、後継者へと繋がる取組を今後も検討していく。

◎観光写真コンクールや花の五大まつりなど、区の魅力を発信する事業を続ける上で、次世代を育成する取組を積極的に行っていることが分かった。ポストコロナということで、観光ガイドなど今後更に積極的に進めていくことに期待している。

②分野別基本方針 いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有について

協議会資料第2-1号に基づき、同事業を通じた達成状況について説明。

◎ガイドマップやグルメマップ等の冊子について、観光協会等の窓口で大変人気がある。多くの外国人も手に取っている。その冊子を見て、次の目的地へのアクセスについての窓口へ問合せが多い。窓口で、案内をしているが、対応に時間がかかることや、外国人へは母国語で案内できないこともある。そのため、冊子に拠点から拠点までのアクセス案内や、拠点近くの駅を示してあるといいのではないかと。

◆拠点間のアクセスについて、情報の変更が多いため、冊子類へのアクセス案内の掲載は厳しいが、今後観光協会と協議の上、祭りの参加者向けに、開催地から次の区内観光スポットへの交通機関等の案内ができるよう検討していきたい。

◎観光写真コンクールの写真を利用し、カレンダーなどでイベントの場所や時期等が分かるチラシを作成してはどうか。写真で区をPRしたチラシが郵便局や病院の待合室などにあると、行きたいなど感じてもらうきっかけになるのではないかと。

◎区内在住・在学の留学生に向け、「文京区観光情報発信リポーター募集」の取組を行っているのは、とても良いと感じた。ガイドマップやグルメマップを多言語化しているが、今の若い外国人はスマホで調べられた方が活用しやすいと思うので、WEBやホームページだけでなく、SNS等で情報をキャッチできる外国人の来訪に繋がるのではないかと。文京区に通う留学生や、訪れた外国人観光客が区の魅力情報をライブやSNSで発信し、他の外国人へどんどん繋がっていくと良い。

◆写真で区をPRすることについては、現在区のホームページや観光協会のホームページで、花の五大まつりの場合、開花状況なども案内している。また、観光地に限らず、歴史的建造物の紹介なども行っている。引き続きニーズに合ったPRがどのようにできるか庁内や観光協会と検討していきたい。

◆先程お配りした文京花めぐりのチラシで、まつりの担い手育成事業の一環として、親子で楽しめる祭りの思い出を写真に撮ってフォトブースを作る体験イベントを実施している。イベント当日に写真を撮り、参加者自身でSNSに発信するような、新しい取

組を行っている。区の魅力発信は、こうした取組を継続していきたい。

③分野別基本方針 つながりから生まれる観光の推進について

協議会資料第2-1号に基づき、同事業を通じた達成状況について説明。

◎観光において、区の魅力を発信するため、他分野との繋がりは大変有効だと思う。それに関連し、区にはたくさんの祭りや歴史的な場所、自然や公園があるので、エコツーリズムのような自然の魅力を発信する環境分野と繋がると面白いのではないかな。また、SDGsなど、持続可能な魅力の発信等、テーマ性を持った観光促進ができるか、良いのではないかな。

◆区でエコツーリズムだけを捉えると難しいが、1事業を例に挙げると、森鷗外繋がりで島根県津和野町と協定を結んでおり、区内の子どもたちを連れて、間伐体験や森林教育、また津和野町の子どもたちと交流する取組がある。そうした体験から、森林の役割を理解し、得た知識を持ち帰り、家族や友人に広めることを目的としている。自然環境を学んでもらう目的もあるが、津和野町の子どもたちとの交流をきっかけに、その後長期に亘って交流が続くことを願い、始める事業でもある。観光という側面だけでなく、今後もその他提携自治体とこうした取組を広げていきたい。

◎東京を訪れる観光客は多くても、比して区を訪れる観光客は少ないと思うので、区ならではの魅力をブランド化出来たらいいと思う。

◆区の外国人観光PRのブランド化について、区だけを目的に観光に来てもらうことは難しいが、例えば東京に観光や仕事で訪れる外国人の宿泊するホテルから地下鉄で15分程度の場所に、日本庭園や旧跡などがある立地はとても貴重だと思う。時間のない旅行等で、地方へ行かなければ見られない庭園や旧跡などが、東京宿泊の隙間時間で体験できる魅力を、インバウンド客へのアプローチとしていきたい。

◎他分野との融合について、事業概要に様々な施設があり、それらの特色や個性を発信すると記載がある。現在シビックホールの名誉館長は、歌舞伎の中村兄弟だが、例えば、ホールで歌舞伎の上演を行う際、歌舞伎の背景や魅力等を区内の美術館やその他施設と提携して、歌舞伎という一つの大きなグランドテーマに沿った展示を同時期に開催することで、国立博物館等で開催する大きな催しに匹敵するイベントにできるのではないかな。

◆区には、38の美術館や博物館があり、それらを繋げるミュージアムネットを作っている。例えば、オリンピックの際に講道館や野球博物館所有の資料等を、シビックセンターで展示するなどのイベントを開催した。今回、歌舞伎を観光として活用といった意見を得たので、区民をはじめ多くの方に楽しんでももらえるよう、区内の施設でそうした展示ができないか、今後の取組の参考とさせていただく。

◎国内外の協定について、区内大学にはそれぞれ海外に提携校があり、区の姉妹・友好都市だけでなく、大学の提携校ネットワークを活用して、提携都市を広げていくことも手段のひとつだと思う。

④分野別基本方針 何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備について
協議会資料第2-1号に基づき、同事業を通じた達成状況について説明。

◎大学には、外国語を話せる方が多くおり、また文京手話会などもあるので、観光面で外国人や障害のある方に対し、そのような補助や介助があるといいのではないかと。

◆区社会福祉協議会へお願いして、そうした繋がりを作っているところである。また、大学に関しては、イベントの際、区内の学校から英語対応などの連携実績もあるので、今後も、区ならではの学校ネットワークの中で、こうした取組を広げていきたい。

◎ボランティアの担い手も高齢化が進んでいるが、人生100年時代で元気でまだまだ働きたい高齢者も多くいるので、うまく繋がればいいのではないかと。高齢者も、ガイドや情報発信など何か役割を持つ方が増えると良いのではないかと。

◎ガイドマップ等の多言語化を進めているということだが、チャットGPTなど自動翻訳機能も日々進化しているので、区の案内など刊行物の翻訳ではなく、そうしたアプリを観光客が使用することが増えると良いのではないかと。

◆イベントや講座など様々な事業が行われているが、いずれも多くの方に参加いただいている。参加者へ事業を知ってもらおうと努力を続けているが、今後は、もう一歩踏み込んで、事業を担うよう繋げて行きたいと考えている。区内には学校が多く学生や留学生の人数にも恵まれているので、区や観光協会が行っている事業と繋がるようにしていきたい。社会福祉協議会とも連携していきたい。

◆自動翻訳機能については、非常に優秀なアプリも出てきているが、それを区の案内で使えるかという点はまだ難しい。しかし、駅の場所など、ちょっとした観光案内には活用できるのではと考えている。実際に観光協会の窓口でそうしたアプリの活用があるので、使えるアプリなどを精査した上で、区来訪者の利便性に繋がるようであれば、積極的に取り入れていきたい。

◎最近では猛暑続きで、イベント参加者が倒れてしまうことも結構あるが、そうした際にあると安心なのがAEDで、レンタルや購入助成などがあると助かる。

◆AEDの準備など、とても重要と認識している。なお、イベントの際には施設のどこにAEDがあるかなど、事前に確認することも重要である。

	<p>◎区には多くの大学があり、その資源を活用することは、区と大学の双方にとって有効と思う。また、区内に通う留学生から聞いた話だが、区にはたくさんの神社や寺があるが、入っていいかわからず、またお寺は敷居が高く、せっかく留学生が興味を持って、知ることができないのはもったいない。</p> <p>◆区内大学との関係については、アカデミー推進課で学長懇談会を実施しており、この会をはじめ、各大学と繋がりを持っている。区内大学の学生には、区のお祭りに参加してもらっており、今後も実行委員会など決め事の際にも、参加してほしいという声があるので、例えば、地域の課題を解決するような取組に繋げ、そうした取組にゼミ単位で参加してもらうのも一案と考えている。現在でもあじさいまつりに、東洋大学より多くの学生がボランティアで参加している。実行委員会等の集まりにも学生の代表や、ゼミの先生が参加し、まつりだけでなく、地域振興に繋げていこうと尽力している。今後も行政として、ニーズと担い手など、上手くつなぎ合わせていきたい。</p> <p>◆区では、区をまるごとキャンパスに見立て、区内各所で様々な方が、文化芸術を見て、聴いて、体験できるイベントを実施する「まるキャンマーケット」事業を行っているので、お寺での体験など、興味を持っている留学生に繋げていきたい。</p> <p>◎区は、文の京というだけあって、歴史があり大学も多く教育も全体的にアカデミックな雰囲気がある。また、お寺など日本の良さを体現できる場所も多くあるので、キャッチコピーなどを用い、うまく区をブランド化し、魅力を伝えられたらいいのではないかな。</p> <p>◆区のブランド化については、検討させていただく。</p>
2 閉会	